



# キリスト教教育について

宗教主任 中澤實郎



宗教教育の事始めは、文字の習得であった。例えば、仏教の原典は、サンスクリット語である。この文字を学ばねばお経は読めない。しかし、仏教は中国を経由して渡来したので経文

# 大学院は多士済々

社会福祉研究科長 齋藤 繁



社会福祉学研究科においては、これまで総勢19名の方々が修士号を授与されました。現在、研究科に在籍している院生の皆さんは、これまた多士済々で、ご高齢の内科医である女医さん、短期大学講師、

# 文学部のアドミッションポリシー

文学研究科長 文学部長 畠山 篤



今年度の文学部入学生は92名、文学研究科の入学生は1名でした。文学研究科を除き、例年になく学生増で、少子化と文学部冬の時代にあつて、まことに喜びに堪えません。

この成果は、教職員が通常業務に努めてきた賜物です。その通常業務とは、教員による、①丁寧な授業の励行、②学生指導の徹底化、③専門の研究の励行、④専門を生かした社会活動の励

習得せねば、専門家は原典を読むことはできない。ローマ帝国時代になると、ラテン語に翻訳された。宗教改革後、聖書は民族の母国語に訳された。しかし、問題は、内容が変容するのである。例えば、「神」という用語である。「ヘブライ語は「ヤハウェ」で、「天地の創造者」、唯一神である。ギリシア語は「ゼウス」は、「ラテン語は「デウス」、英語は「ゴッド」であつて、唯一神ではない。我々日本人は、「神」という言葉から如何なる形態の神を連想するのだろうか。「八百万の神」(ヤオヨロズ)という表現がある。

幼稚園の園長先生と、学部からの一般学生が3名という構成になっていきます。出身地は、宮城県2名、岩手県2名、京都府1名、青森県1名です。うち社会人学生は3名ですが、お勤めを続けながら2年間の学業を達成することは並大抵ではなく、至難の業と言えるでしょう。大学としては、仙台、京都などからの遠隔通学という事情とも取り組まなければならず、授業計画づくりに苦慮してまいりました。結局、適部は求めています。

「英語・英米文学科は英語と人間を理する学問です。人間を理する学問は、英語・英米文学科のアドミッションポリシーは、次のようになります。今年度の活気を上回るためには、さらにこの通常業務に努め、また理想の文学部・文学研究科を追求しなければなりません。そのために、文学部のアドミッションポリシーを次のように掲げます。

# 開学部10年目を迎える

社会福祉学部 社会福祉学部長兼学長 吉岡 利忠



「保健医療福祉」は一つの重要な専門用語であり、多くの人たちが目にする耳にするありふれた単語になりつつある。決して、その意味するところが「保健・医療・福祉」というように、分けて考えるべきではない。対象は我われ一人ひとりである。さまざまに悩める人たちがそれぞれの個性を対象とするべき実践的学問であるとも言える。個々を対象にするのではなく、社会福祉学部の存在を、世間の人々に知って戴けるようご協力ください。要点はこうです。

① 講義は夜間開講をしますから、お勤めをしながら通えること、② 短大または専門学校卒業の学歴とプラス3年以上の福祉関連業務の経験があれば受験できる③ 年齢は問いません。ご希望の方が居れば、ぜひ本学広報入試センターにお問い合せ願います。

「日本語・日本文学」は、次世代のグローバル社会を生きる人々に求められる。そのためには、日本語と日本文学、さらにはそれらを含む広い意味での日本文化を研究し、ともに学ぶことが必要である。社会や人間の問題を根本に立ち返って考え、かつ表現する力を持つことで、21世紀の世界で活躍していける。そういう柔軟で強靱な人材を育てていくことを目標としています。もちろん、旧来の「国語学」「国語文学」の伝統も大切にしています。

# 三年目を迎えた看護学部

看護学部長 神郡 博



新設の看護学部も今年で3年目を迎え、いよいよこれから、臨床実習が始まる時期にきています。臨床実習は、看護教育の重要な位置を占め、どの大学でも全教育期間の四分の一に相当する時間を割いています。本学でも3年後期から4年前期の1年間が臨床実習に当てられ、学生がこの期間に、成人、老年、母性、小児、精神、地域の各施設で実習することになっていきます。

この時期の課題は、如何によい体験をして、看護に必要な能力を身につけていくかに置かれています。換言すれば、これまでに学習してきたことを、個々の看護場面や患者に当てはめ、適切なケアをする能力を如何に身につけるかという点です。このためには、学生の積極的な姿勢に加えて、適切な臨床の場と、きめ細かな臨床指導体制が必要なのはいうまでもなく、本学部卒業後はいくつかの教諭免許、そのほかに国家資格である社会福祉士、精神保健福祉士の受験資格、特別支援学校教員(準備中)の資格取得可能である。社会福祉士については依然として高い実践力が付いていないとか、その養成が充分でないとか、社会的認知度が低いとか、研修体系などの整備が進んでいないという現状分析がある。このような現状と課題をふまえて、社会福祉士制度の在り方が関係各府庁によって前向きに検討されている。やはりこの機会に乗じて社会福祉学部は充実していかなければならない。

10月の実地視察を経て、本年3月、「大学基準に適合し、協会の正会員に認定」するとの評価を受け、会員章と認証マークが交付されました。2004年以降、すべての大学、短大、高等専門学校は、国の認証評価機関による評価を受けることが法律によって義務付けられました。本学では、これまでの自己点検・評価を土台に、2006年4月、大学基準協会に認証評価を申請しました。次回認証評価は、2010年の申請、2011年3月、結果公表の予定です。(文責 総務課)

# 大学基準に適合

# 大学基準協会会員に



# 吉岡利忠学長 中富健康科学振興 財団から表彰される

吉岡学長は、2007(平成19)年3月20日、ホテルオークラ東京において、平成18年度(第19回)中富健康科学振興賞を受けられた。この財団は久光製薬株式会社前会長中富正義の私財を基に創業140周年を記念して設立されたものである。健康の維持・増進について医学・薬学および運動を主体とする健康増進に関する科学の研究に助成しており、吉岡学長は、長年に亘る運動を主体とする健康増進に関する科学の研究およびこの分野の発展に顕著な功績があった研究者に対する顕彰として表彰された。その業績に対し贈呈された褒賞金の一部は弘前学院創立120年記事事業協賛に寄付された。これまでに、吉岡学長は秩父宮記念スポーツ医・科学賞および奨励賞、神奈川県体育功労者賞、国際健康コミュニケーション科学学会功労賞、上原記念生命科学財団、明治生命厚生事業団などから表彰を受けている。



## 新任客員教授紹介 (平成19年4月1日付)



後藤 勝正



中村 幸弘



梶木 剛



大学看護学部 助手  
菅原 大輔



大学看護学部 助手  
長内志津子



大学社会福祉学部 講師  
小川 幸裕



大学文学部 大学院文学研究科  
教授 野沢 勝夫

## 新任紹介 (平成19年4月1日付)



学務主任 准教授  
吉永 直子



日本語・日本文学科長  
教授 井上 諭一



英語・英米文学科長  
教授 佐藤 和博

## 文学部

## 平成十九年度 各学科長・ 各学科主任紹介



看護学科長 教授  
木村 紀美

## 看護学部



学生主任 准教授  
西東 克介



社会福祉学科長 学務主任  
准教授 八戸 宏

## 社会福祉学部



学生主任 准教授  
坂井 任

## 人事発令



学生主任 教授  
三上 聖治



学務主任 教授  
片桐 康雄

### ○退職

(平成18年11月5日付)

大学看護学部

助手 泉 朱子

(平成19年3月31日付)

大学文学部  
大学院文学研究科

教授 中村 幸弘  
教授 梶木 剛

大学社会福祉学部  
大学社会福祉学研究科

教授 前田 敏雄

大学看護学部

講師 東中須恵子  
講師 葛西智賀子

# 卒業記念パーティーを終えて

社会福祉学部・社会福祉学科卒 成田 知哉

私は、卒業関係委員会のメンバーとして卒業アルバムの作成、卒業パーティーの企画を行いました。大学の4年間で4年の卒業関係委員会に所属して活動していた時が充実していたと思います。委員会活動していたこの1年間は懐かしく楽しい思い出です。

4年生の春、最初の打ち合わせの時まず何をすればいいのか解らず、前年度の資料を見たり学生課の方に聞いたりと試行錯誤しながら進めました。なかなかうまく進ま

ず苦労の連続でした。

主な仕事は卒業アルバムの作成と卒業パーティーの企画・進行。前期は卒業アルバムに載せる写真を集めました。個人写真は前期中に撮り終える必要があり、6月頃は

## 卒業生からのメッセージ

### プリンシプルの確立

2007年3月卒 文学部 英語・英米文学科 高橋 直樹



月日が経つのは本当に早いもので、弘前学院大学の門をくぐってから4年の歳月が流れました。今、こうしてこの4年間を振り返ってみますと、実に様々な思い出が脳裏に去

来いたします。

私は、大学生になって初めて一人暮らしというものを経験しました。弘前には身寄りもなく、当時はまだ友人もごく僅かでした。そこで大変だったのは、何でも自分で判断しなければならなかったことです。何かトラブルが発生

に最後まで内容を検討・調整しましたが、パーティーが終わるまで緊張が続いた。パーティーの中心となる余興は学生の中から募集しましたが、生の中から募集しませんが、お願いできる人がいなく先生方のみだったのが残念でした。余興をする人が少ないが、パーティーが盛り上がりれば一人か二人は飛び入り参加してくるだろうとカラオケなどを用意してパーティーに臨みました。パーティー当日はたくさん人がカラオケに飛び入り参加し、予想以上に盛り上がりを見せた。



残念なことはパーティーの時間が2時間と短く、途中で切り上げた点です。もう少し時間があればもっと盛り上がりがあったと思います。パーティーには批判を浴びることもあれば、戦わなければならぬこともあります。でも、一本の筋が強く通っていれば、そう簡単に揺るぎません。周りの人間が何を言おうと最終的に決断するのも、そして、その責任を負うのも、自分自身なのです。

大学とは、プリンシプルを確立する場だと私は思います。現代は、価値観の多様化が無制限であり、何をすることも判断することの難しさを痛感せざるを得ません。このような時代だからこそ、個々の生き方が問われるのです。在学生の皆様には、この4年間で自分自身を深く見つめ、自らのプリンシプルを確立していただきたいと思っています。

## 大学生生活で得たもの

2007年3月卒 社会福祉学部 社会福祉学科 佐藤 弥生



私の大学生活を一言で表すと、まさに「出会い」だったと思います。大学で出会った友人は私の弘前での生活に喜びや楽しさを与えてくれました。

ボランテア活動ではスペースシャトルオリピックス(SO)に参加し、アスリートやフア

ミリーに出会いました。また、SOという活動そのものも貴重な出会いとなりました。

SOを通して、自分に何が

できるのか、何をすべきなのかを考えて行動するようになり、それを通して、私の障がいに対する考え方やボランティアをする意識に大きな変化を与えたのもSOでした。

スポーツを通して触れ合っている時間、仲間を共に乗り越え活動できるようにと考えた時間は大きな財産となりました。ひとつの活動にこれ程熱くなることができ、その一員として参加できたことを嬉しく思います。

4年生のゼミでは信頼できる先生とかけがえのない7人の仲間に出会いました。同じ文章を読み、それぞれの考えや意見を交換し合ったことは

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。だれでも、求める者は受け探す者は見つけ、門をたたきなさい。」(聖書マタイによる福音書7章7〜8節)

十数年前に大学を卒業し、普通ならば、仕事に家庭に子育てにと忙しい日々を送っているであろう年齢に達しているが、それには縁遠い生活を送っている中で巡り合ったのが、大学院への入学であった。

## 扉は開かれる

2007年3月卒 大学院文学研究科 N・S

始めのうちは、学生としてのカンを取り戻すのに精一杯で、これほどまでに社会人実質になつてしまったのかと、十数年の歳月を重く実感した。

徐々に慣れた頃から、学ぶことの楽しさや、よい意味での苦しさを味わうようになっていた。過ぎてしまえばあつという間の2年間であつ

2006年度の卒業生による「卒業記念パーティー」が3月17日(土)に開催され、20万円の剰余金がありました。卒業関係委員会メンバーで検討した結果、大学へ寄付することに決定され、吉岡学長に手渡されました。

学長から、卒業生の皆様に対し、「思いがけない沢山の寄付をいただき、感謝を申し上げるとともに、後輩の学生のために有効に活用したい」と、お礼を述べられました。

この寄付金は120周年記念事業へ寄付することになりました。

## 卒業生より20万円寄付

## あおもり県民政策研究を獲得!

この度、平成19年度あおもり県民政策研究(学生枠)未来をつくる波をおこせ!アイディア募集に、本学の船木ゼミ生を中心とする発達障害早期療育研究ネットワークのグループ(代表社会福祉学部4年吉田聡恵他)が、「青森県の三市における早期療育の現状把握と、子ども・家庭支援システムの構築に向けた調査研究」が公募したところ、審査会において研究助成金の決定をいただきました。5月28日(月)、交付決定通知伝達式が青森国際ホテルにて行われ、



## 交通事故に遭った婦人から感謝の電話!

4月19日の昼頃、西弘前駅の組合マーケット付近で交通事故に遭い苦しんでいる婦人を発見し、救急車が来るまでずっと傍で元氣付けてくれて、適切な対応をしてくれた本学生をさがしてほしい、そして感謝とお礼を述べたいという電話があった。そこで掲示等で呼びかけたところ、看護学部の十川祐哉・岩沼 将・本間愛音・工藤春菜さんの4名とわかりました。

